

平成16年3月26日

各位

会社名 日立造船株式会社

代表者名 取締役社長 重藤 毅直

(コード番号 7004 全国5証券取引所に上場)

問合せ先 総務部長 神谷 明文 TEL(06)6569-0013

東京総務部長 菱川 道生 TEL(03)3217-8418

特別損失の発生および計上額の訂正ならびに業績予想の修正について

当社は、平成16年3月26日開催の取締役会において下記 . の事項を決議するとともに、平成16年3月期の業績予想を下記 . のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生および計上額の訂正

1. 構造改善損失の発生

当社は、現在、平成14年度から5か年の中期経営計画「Hitz - Advance」を鋭意推進しておりますが、当社を取り巻く経営環境は、公共投資の低迷に加え、競合他社との激しい価格競争により、依然として厳しい状況が続いております。こうした中で、当社は、次期以降の収益改善を図り、本計画の達成をより確実なものとするため、さらなる事業構造改善を推し進めることとし、この事業構造改善に伴い発生する、不採算部門からの撤退に伴うたな卸資産処分損および新規事業・新分野への進出に伴う工事損失等35億円を、平成16年3月期単独決算において特別損失に計上することといたしました。

また、連結子会社においても、たな卸資産処分損等5億円が発生するため、連結損益に与える影響額は、40億円となる見込みであります。

2. 固定資産減損損失の計上額の訂正

当社は、固定資産の減損会計を平成16年3月期決算から早期適用することとし、単独決算で130億円、連結決算で150億円の固定資産減損損失を特別損失として計上する予定である旨を平成15年9月4日付で公表しておりましたが、その後、「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第6号平成15年10月31日)について検討した結果、平成16年3月期の単独決算で80億円、連結決算で110億円を特別損失として計上する予定に訂正いたします。

・ 通期業績予想の修正

受注競争激化による受注価格の下落およびコストダウンの未達による経常利益の悪化ならびに上記特別損失の計上等により、平成 15 年 11 月 18 日の中間決算発表時に公表した平成 16 年 3 月期（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）の業績予想を次のとおり修正いたします。

(1) 連結業績予想の修正（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日） （単位 百万円）

| | 売 上 高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------|---------|--------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 335,000 | 10,000 | 13,000 |
| 今回修正予想 (B) | 335,000 | 7,500 | 11,000 |
| 増 減 額 (B - A) | 0 | 2,500 | 2,000 |
| 増 減 率 (%) | 0.0 | 25.0 | 15.4 |
| (ご参考) | | | |
| 前期実績(平成 15 年 3 月期) | 395,239 | 7,201 | 35,062 |

(2) 個別業績予想の修正（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日） （単位 百万円）

| | 売 上 高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------|---------|-------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 200,000 | 5,000 | 10,000 |
| 今回修正予想 (B) | 200,000 | 3,500 | 8,000 |
| 増 減 額 (B - A) | 0 | 1,500 | 2,000 |
| 増 減 率 (%) | 0.0 | 30.0 | 20.0 |
| (ご参考) | | | |
| 前期実績(平成 15 年 3 月期) | 269,451 | 4,340 | 33,383 |

以 上